

有子世帯の加算の検証方法について

有子世帯の加算の検証方法について

- 有子世帯の扶助・加算の検証に当たっては、①生活扶助本体(第1類費・第2類費)に関する検証、②子どもにかかる費用の検証、③ひとり親世帯のかかり増し費用の検証、④子どもの教育にかかる費用の検証の4つの項目に分けて検証を進めることとした。
- この4点の検証項目のうち、①から③については、生活保護基準本体との関係整理、子どもの健全育成にかかる消費支出や生活実態の分析等を踏まえ、以下のとおり検証を進めてはどうか。

1 生活扶助基準本体(第1類費・第2類費)と子どもの健全育成にかかる費用との関係整理

- 生活扶助基準本体(第1類費・第2類費)については、夫婦子1人世帯をモデル世帯として、
 - ① 消費支出額の変動に関する検証 …… 急激に消費支出が減少する「変曲点」等の有無
 - ② 家計の赤字黒字分岐点に関する検証 …… 家計が赤字に転落する水準の確認
 - ③ 品目別の消費支出の状況に関する検証 …… エンゲル係数の上昇など家計状況が変化する点の有無などの分析により、最低限度の生活を維持することができる水準について検証を行う。
- 一方、子どもの健全育成にかかる費用については、子どものいる世帯の消費実態や生活実態といった多角的な視点から、上記の最低限度の生活を維持することができる水準が子どもの健全育成にかかる費用を確保できているか検証した上で、子どもの健全育成(将来に向けた自立助長)のために必要な水準について検証を行う。

2 子どもの健全育成にかかる費用の検証方法の考え方

消費実態による検証

- 夫婦子1人世帯の年収階級五十分位別の消費支出額等の動向の検証において、年収が減少しても、一定の消費水準を保とうとする段階(抵抗線)の有無について確認し、まずは抵抗線の水準における夫婦子1人世帯の費用等について検証してはどうか。
- また、夫婦子1人世帯の消費支出階級五十分位別の固定的経費、変動的経費の動向を確認することにより、消費支出の変動に対する固定的・変動的経費の感応度を検証してはどうか。

3 ひとり親世帯のかかり増し費用に関する検証方法の考え方

消費実態による検証

- ひとり親世帯のかかり増し費用についても、まずは、子どもの健全育成と同様に、以下のとおり、消費実態による検証を行ってはどうか。また、ひとり親世帯における子どもの健全育成にかかる費用についても、合わせて検証を行うこととしてはどうか。
- 夫婦子1人世帯との比較を行う観点から、ひとり親子1人世帯における年収階級二十分位別の消費支出額等の変動の状況を検証し、変曲点及び抵抗線におけるひとり親世帯の消費水準について検証してはどうか。
- また、消費支出階級二十分位別についても、固定的経費、変動的経費の動向を確認してはどうか。

(2及び3共通)

生活実態による検証

- 「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」を用いて、年収階層別の指標の変化や、一般世帯と生活保護受給世帯の比較を行い、子どものいる世帯の生活実態を検証する。